

令和三年度 秋季 鎌倉俳句&ハイク

期間 令和三年八月一日〜令和三年十月末

選者 星野椿、星野高士

投句数 二、六五三句

特選三句

天 名月を水に宿すや源氏池
神奈川県横浜市 山下 省三

地 風なくて源平池の散紅葉
神奈川県横浜市 田阪 武夫

人 深沢の秋夕焼をモノレール
神奈川県茅ヶ崎市 原田 博之

入選句

一般の部(二十句)
錦秋を諸人仰ぐ瑞鹿門
東京都港区 伊集院 秀樹

残暑いま竹の擦れ音報国寺
神奈川県横浜市 岡田 敦子

栗ひとつ頬張る母の顔いとし
神奈川県横浜市 荻野 栄美

寺の奥尼僧の影や青蜜柑
神奈川県川崎市 小関 新

名を訊かれ紫苑と答ふ東慶寺
神奈川県横浜市 加藤 文男

竹の春ひっそり小さき石仏
神奈川県横浜市 金子 きよ

あめつちをおほひかくすや朝の霧
埼玉県川口市 櫻井 義男

鎌倉や散策地図に秋の風
神奈川県川崎市 里中 信

お団子とすすき供えて空見上げ
神奈川県横浜市 鈴木 洋美

面掛のどこか愛らし秋祭
神奈川県横浜市 谷田 八千代

秋晴れや鳥には鳥の航路あり
神奈川県大和市 寺尾 明子

墨染の列整ひて薄紅葉
神奈川県藤沢市 徳江 祐子

塀の内なる尼寺の曼珠沙華
神奈川県鎌倉市 中島 容子



鎌倉の四季折々を十七文字に・・・
鎌倉俳句&ハイク実行委員会
〒248-0016 鎌倉市長谷 1-5-3
公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団内
鎌倉俳句&ハイク実行委員会
TEL 0467(22)5010
<https://www.kamakura-haiku.com/>

秋涼し漱石想う門の寺
東京都墨田区 西脇 友史

秋麗の子ら集ひけり朝の禅
東京都杉並区 野村 親信

遠浅の波音に間や今朝の秋
東京都町田市 星野 佐紀

砂浜に煌く数多秋の風
東京都町田市 星野 美加子

江ノ電に見る家並も秋気澄む
神奈川県横浜市 牧野 君子

実朝の歌碑に佇む秋日傘
神奈川県茅ヶ崎市 松坂 真理子

あきばれやみしらぬひととまちあわせ
東京都墨田区 守山 駿

子どもの部(十句)
赤蜻蛉明るい光めざしとぶ
東京都中央区 浅生 耀心

空仰ぎ目を泳がせる鰯雲
東京都昭島市 倉賀野 繪

流れ星願いを連れて消えてゆく
神奈川県横浜市 鈴木 美緒

もみじがり今しか見れない赤い山
神奈川県鎌倉市 大沼 優真

きんもくせいそつと香った夜の道
神奈川県鎌倉市 佐藤 暖

風変わり秋のおいがただよった
神奈川県鎌倉市 牧村 逸希

秋雨が足に染みつく建長寺
神奈川県横浜市 石田 悠道

秋の空古都鎌倉で恋みくじ
神奈川県横浜市 大橋 絢太

秋晴れのひいたおみくじ独り凶
神奈川県横浜市 佐野 千依

秋晴れの空一面に鎌倉宮
神奈川県横浜市 和田 眞帆子

(順不同)